

予算特別委員会（令和2年3月16日～3月26日）

森下博司議員の知事保留質疑

ローカルSDGs（エスディージーズ）福岡県版と日田彦山線問題について



（森下議員） SDGs の認識と向こう 10 年間の決意について、新たな提案をしながら何点か質問したいと思えます。SDGs いわゆる持続可能な開発目標とは国際社会が 2030 年を目指して、解決すべき課題を国連の場で明らかにしたのは、知事もよく分かっておられると思いますが、その中で、17 項目の目標が立っていますが、全部分かるでしょうか。



（小川知事） 17 項目があるという事は承知をしています。そらんじておりませんので、読み上げることとなりますが、17 項目から、そのアイデア、考え方はまとまっていると認識しています。

（森下議員） 17 日の予特の時に、県の回答がありました。「SDGs は誰一人取り残さない社会の実現を目指して、広範な課題に責任を持つ重要な取り組みであると認識しています。」との答弁でした。私は、この SDGs の 17 目標は、色々あります。それを、勉強すると、福岡県のいわゆる県民幸福度ナンバーワン(No.1)、これに全て通じるものがあると確信しました。その 17 項目が、言えない知事はいかなものかなと私は思います。強い意識を持って、SDGs の理念等をしっかり勉強された方が良く、私は思っています。

本県も、福岡県総合計画を軸に持続可能な目標を立てています。見ました。175 ページあります。その中の施策や事業は、大変多岐にわたっていますが、SDGs いわゆる 17 目標と関係したものもありますが、それを一覧表にしてみると、SDGs を後付けしてみたり、それでこと足れりとしている内容が多

く見られました。

SDGsの言葉はどこにも見当たりませんでした。1か所もなかったんです。私は、多くの県職員にこのことを尋ねてみると、SDGsについてはよく分からない、ある人は、これに関連した新たな事業や施策を展開したいけれども、どのようにしたらよいか分からない。こういう声も、たくさん県職員から聞きました。あまりにも県職員が、SDGsに対する認識もないし、また、その意識付け、これの向上には全く関心ないことが分かって、大変ビックリしています。

そこで私は提案しますが、今一度全庁あげてSDGsの理念に立ち返って施策や事業を考えては如何かと思えます。理念を理解することがSDGsの本質により近づくし将来的な応用にも役に立つと思えます。

そこで知事に伺います。SDGsに対する知事の認識と見解と対応策をお聞かせ下さい。

(小川知事) 県におきましては、このSDGsの考え方というものにつきましては、総合計画・地方創生総合戦略の考え方と重なっているところが多くあります。そういうところから、これまで、県の総合計画、または、地方創生総合戦略、これを着実に実施していくことが、SDGsの着実な推進になる、こう思ってやってきているところでもあります。また、このSDGs考え方を県の施策に反映させていくために、平成30年に策定しました、県の環境総合ビジョン、そして、今議会に提出させて頂いています、5年間の政策の方向性を示す第2期地方創生総合戦略におきましても、SDGsの考え方を踏まえて作製しているところでもあります。

さらに、来年度から、県政推進の指針となります次期総合計画の策定に着手します。その策定に当たりましても、SDGsの考え方、17項目ありますが、一個一個照らして、その作業を進めていきたいと考えています。

(森下議員) 知事は行政のトップセールスマンでもありますし、決して、名誉職や栄誉職ではなく、改めて、その責任職を全うしているのかという疑問も持っています。先ほど述べたようにSDGsの取り組みに対して、県職員の認識が大変に薄い。また、理解もしていません。県民は、さらさら意識もなく理解もしてないのは事実であります。そこで提案ですが、全庁的に気運を高め、意識の向上を図るためにも、まずはしっかりした勉強会を持つべきと

私は思います。

また、気運を高める意味でも、知事の胸には今、「オリ・パラ」のバッジがありますが、来年に延びたようなので、それを一時はずして頂いて、このSDGsのバッジに付け替えたらどうかな、と思います。名刺とか、職員が付けている名札にもアイコンを貼り付けるとか、また、県庁の1階にSDGsの横断幕を掲示するとか、ムードを高めて、全員で500万県民が、この理念を理解し、そしてみんな地球を守っていくような、生活を守っていくような、この体制をリードを知事にとって頂きたいと思いますが、如何でしょうか。

(小川知事) 先ほど答弁しましたが、来年から策定します次期総合計画、第2期地方創生総合戦略につきましては、私をトップとする各部長、教育長、警察本部長をメンバーとする庁議、ここにおいて、しっかり進捗管理を行い、全庁あげて取り組んでいきたいと思っております。

職員の意識向上について、話がありましたが、理解を深めるため、提案がありました勉強会を開催させて頂こうと思います。

庁内のイントラネット、あるいは、ホームページを通じた先進事例、そういった取り組みについても、紹介していきたい。

こういう取り組みを着実に進めていくことにより、また、提案がありました諸点については研究させて頂き、職員一人一人の意識の向上を図っていききたいと思います。

(森下議員) 今、知事から勉強会を開くと答弁がありましたので、これは是非、実行して頂きたいと思います。

知事もご存じのように国では、安倍総理がこのSDGsの推進本部長になっています。北海道、大阪等でも推進室が出来、北九州市も推進室が出来ました。

私は、国、県、市のネットワークで取り組んでいけば、もっと価値ある成果、実りが出てくると思いますが、本県には残念ながら、推進室はありません。そういう面では、私は、全庁の幹部職員だけでなく外部有識者、また、学生さんとか諸団体、障がい者の団体等々も加わって頂いて、知事が本部長で、推進委員会等を立ち上げて、全庁的というより、全県的にこの運動は底上げしなければいけないと思っております。

今年は行動10年のスタートだといわれておりますので、是非、このこと

は検討して頂きたいと思います。如何でしょうか。

(小川知事) 来年度は、先ほど答弁しましたように、次の総合計画の策定作業に入ります。その中でSDGsの考え方を一個一個並べて議論していきたいと思います。そういう作業の中で、今後の推進体制について検討させてもらいたいと思います。

(森下議員) 日田彦山線問題について、SDGsの観点から、質問したいと思っています。

今年3月に作製された東峰村の第2次総合計画の中に、このようにうたっています。「SDGsの考え方を踏まえた施策の推進に取り組む」とありました。そこで質問ですが、SDGsの目標でもある福祉の促進、質の高い教育、持続可能な村づくり、そして環境保全等々、新たにSDGsの視点で日田彦山線問題を捉えた時に、ひとつの方向性と新たな解決策が見いだせるのではないかと思います。知事の見解と対応策をお聞かせ下さい。

(小川知事) 先ほど議論させて頂きましたが、今後の地域の振興策、今おっしゃいましたような、それぞれの地域、目標、あるいは計画があるわけでして、そういったものをしっかりとお聞きしながら、地域振興策について県議会のご議論、お力も借りながら、まとめていきたいと思っています。

(森下議員) 3月17日の質疑の折に、片山交通政策課長はこのようにいわれました。「日田彦山線の復旧問題につきましてはSDGsという視点で捉えておりません。考えてなかった。そのためにはしっかりと地域の意見を聞かせて頂いた上で、検討を加える必要がある。」という答弁でした。

この日田彦山線復旧問題における知事の今後の地元への対応についてお聞かせ下さい。

(小川知事) 先ほど答弁申し上げたとおりではありますが、地域振興策、地域をどうやって盛り上げ、元気にしていくか、今後検討していくことになるわけですが、その際、地域でお考えのこと、地域の思いといったものを、しっかりと受け止めさせて頂き、私どもと検討させて頂きます。その際、県議会に協議会を作って頂いておりますので、ご議論、お力を借りながら地域振興策をまとめていきたい。その際、SDGsの視点も入れていきたいとこのように思います。

(森下議員) 私は、3月8日に、「自立の会」の皆さんとともに、出席をさせ

て頂いて意見交換会をしました。参加されている東峰村の方たちの中で、こんな意見がありました。「知事と一度も会ってない。」「このままでは禍根を残したくない」「一緒になって検討して欲しい」「鉄道以外、別の方向があるのであれば、直接交渉してもらいたい」「今年の八月より一向に進んでいない」「声が届いていないのが残念だ」こういった声が聞かされました。やはり、現場に即して、知事が本当に寄り添っていくというのであれば、結論を少し伸ばすのであれば、時間あれば東峰村、添田町に行って頂いて、色々な階層のメンバーと意見交換をする、この腹を持った方が良いと思いますが、知事の決意をお聞かせ下さい。

**(小川知事)** これから先、地域の皆様、東峰村の渋谷村長始め地域の皆様、しっかりご意見を承りたい。また、その思いを受け止めながら、今後、よりよい結論を出せるように、努力をしていきたいと思えます。何度も何度も地域に入っていく、また、意見交換、あるいは、お話し合いをしたいと思っております。